令和６年度相談支援従事者現任研修

e-Learning　振り返り・評価シート

本シートは、現任研修で習得すべきことがらのうちe-Learningで学ぶ内容について、研修の受講（動画視聴）前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。動画視聴後は以下を参考に、太枠内に必要事項を記入し、期限までに事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨むため、動画視聴前に獲得目標毎の自己評価を10段階で記入する。

［事後評価］① 受講後（動画視聴後）の学習効果を10段階評価と自由記述にて記入する（身についた、理解した、自己評価と相違があった等）。

　　　　　 ② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受講番号 |  | 氏名 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 振り返りシート番号 | 動画タイトル | テキストページ（参考） | 動画視聴終了日 |
| １ | 講義1　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律および児童福祉法等の現状 | 22～54※一部テキスト外あり | 　月　　日 |
| 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について | － | 　月　　日 |
| ２ | 講義2-1　個別相談支援 | 56～83 | 　月　　日 |
| ３ | 講義2-2　多職種連携及びチームアプローチ | 84～108 | 　月　　日 |
| ４ | 講義2-3　地域を基盤としたソーシャルワーク | 109～124 | 　月　　日 |
| ５ | 講義3　実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法 | 126～138 | 月　　日 |

≪記入上の留意点≫

・自己評価は「10」を「理解している・できる」、「1」を「理解していない・できない」として、10段階で評定し記入してください。

・**「気づきや理解した点等」**は講義内容をまとめるだけでなく、そこからどのような気づきが得られたかを要約して**必ず記入**するようにしてください。新たな気づきにつながらなかった場合は、今後の実践等に向けた自身の指針を簡潔に記入してください。

・講義1～3（e-Learning及びテキスト）の内容に関して疑問点や質問がある場合には、最後のページにある質問票を使用してください。質問がない場合は空欄のままで構いません。

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義１】(テキストページ　２２～５４頁)障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状 | 講師名 | 大平　眞太郎 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 障害福祉制度の経緯について振り返り、令和4年の法律改正の概要について理解する |  |  |  |
| 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する |  |  |  |
| 障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する |  |  |  |
| 地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する |  |  |  |
| 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容について理解する |  |  |  |
| その他関連制度の状況について理解する・介護保険制度との関係性・生活困窮者自立支援制度・地域共生社会の構築に向けた取り組み |  |  |  |

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート２

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－１】(テキストページ　５６～８３頁)本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　第１節　意思決定支援に着目した個別相談支援 | 講師名 | 彼谷　哲志 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 個別相談支援の基本姿勢等を理解し、相談支援の実務において、これらを常に意識した実践ができる |  |  |  |
| 相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる |  |  |  |
| 相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる |  |  |  |

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート３

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－２】(テキストページ　８４～108頁)本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　第２節　多職種連携及びチームアプローチ | 講師名 | 鈴木　智敦 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる |  |  |  |
| ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる |  |  |  |
| 事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる |  |  |  |
| 各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる |  |  |  |
| 多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる |  |  |  |
| 多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている |  |  |  |

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート４

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－３】(テキストページ　109～124頁)本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　　第３節　地域を基盤としたソーシャルワーク | 講師名 | 島村　聡 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる |  |  |  |
| 個別支援と地域支援の一体的展開に必要な視点、地域課題の抽出に重要な個別支援会議について理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用と展開について理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域資源の柔軟な活用、その人に必要なソーシャルサポートネットワークづくりの必要性について理解し、実践できる |  |  |  |

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート５

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義３】(テキストページ　126～138頁)実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法 | 講師名 | 小澤　温 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| スーパービジョンの定義や機能、特徴（方法）について説明することができる |  |  |  |
| 事例検討とグループスーパービジョンの違いを説明することができる |  |  |  |
| 相談支援専門員にとって、ストレングスモデルにおけるグループスーパービジョンが重要である理由を説明することができる |  |  |  |
| ストレングスモデルにおけるグループスーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる |  |  |  |

e-Learning

現任研修【講義１～３】質問票

講義１～３（e-Learning及びテキスト）の内容に関して疑問点や質問がある場合には、振り返り・評価シートの「気づきや理解した点等」に記載するのではなく、こちらの質問票を使用してください。質問がない場合は空欄のままで構いません。

なお回答については令和６年度群馬県相談支援従事者現任研修の担当講師が行います。e-Learning及びテキストの担当講師に直接確認できるものではなく、内容によっては回答を差し控える場合があることをあらかじめご了承ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 講義名・項目等（テキストの場合はページ番号も） | 疑問・質問の内容（できるだけ具体的に） |
|  |  |